

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 寝屋川市立第十中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒572-0003

大阪府寝屋川市成田南町20-7

E-mail : dai10@school.kyoiku.city.neyagawa.osaka.jp

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子219名 女子204名 合計423名

児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

- ① 地域教育 ②国際理解・貢献、世界遺産教育 ③キャリア教育の3点について、各学年が取り組んだ。

### ① 地域教育

(1年生)

1学期は、地元である寝屋川市についてインターネットや資料を調べ、それをもとにフィールドワークに行く。また、地域の方々を学校に招いて郷土料理をつくり、地元の生活や文化を体験した。

事後学習として、体験、学習したことを新聞やワークシートにまとめ、2学期には学習発表会にて、学んだ内容に関して劇を通して伝えた。

3学期は、岐阜県にスキー学舎へ行くため、岐阜県の文化・生活をインターネットやパンフレットを各班で調べ、ポスター形式にまとめて発表した。そして現地では、現地の方たちとの交流から、自然と環境について学び、帰校後はグループ別に新聞をつくり、発表する機会を設けた。

(3年生)

修学旅行で長野県の白馬地方へ行くため、その地方の伝統、文化、生活、自然、観光について調べ、収集した情報を分析する。また、調べた内容をまとめ、ポスター形式にして発表する機会を設けた。

現地では、視覚的・体験的な活動をや現地の方との交流を通じてさらに理解を深め、その内容をまとめて新聞を作成し、発表する機会を設けた。

### ② 国際理解・貢献、世界遺産教育

(1年生)

校外学習において、京都の清水寺を訪れた。日本が世界に誇る文化について事前学習において調べ、その他海外の世界遺産や世界に誇れる文化についての情報を共有し、まとめる。

実際に訪れた際には、外国人へのインタビューを行い積極的に会話することで、英語に親しむことや文化等を学ぶことができた。事後学習としては、校外学習を通しての内容と体験したことを発表した。

(2年生)

異文化理解をする視点を持つために、学習発表会に向けて、各学年・各クラスで調べる国を決定し学習した。

そのために、インターネットや資料を用いて情報を収集し、パワーポイントを使って調べた国の文化を表現する。さらに、ゲストティーチャーを招き、各国の郷土料理を作った。それらから、見る人にとってわかりやすいプレゼンテーション資料にまとめ、舞台上で発表した。

